

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	健康づくり・未病改善事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	町民の健康づくり・未病改善及び医療費の削減のため。			
事業概要	町民の健康づくり・未病改善のため、健康相談、保健指導等を実施。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	03	大事業 0001 健康づくり・未病改善事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	12,322	1,056	5,541	1,122	
	概算人件費	5,277	8,323	5,597	5,597	
	トータルコスト	17,599	9,379	11,138	6,719	
	国庫/県支出金	542	35	118	565	
	その他	10,484	0	2,158	33	
R3 概算人件費	正規職員	0.52 人		2,051 千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	2.2 人		3,546 千円		
	その他	人		千円		
	合計			5,597 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 未病センター利用者数（一日平均）（人）	-	5.3	2.09	3.23	6
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等

- ・未病センターの利用は令和2年度に引き続きコロナ禍のため、利用者は減となっているため、今後のコロナウイルスの状況を見極めながらの普及啓発が必要である。
- ・水中運動教室は従来の運営方法が困難となり、今後は施設管理とあわせ生涯学習課にて実施する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	健康診査事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	病気の早期発見・早期治療により健康の維持増進を図る。			
事業概要	病気の早期発見・早期治療につなげることで、町民の健康管理に役立てる。健康の維持・増進に向けた指導を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	03	0002 健康診査事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	15,553	15,062	17,146	17,340	
	概算人件費	3,692	3,390	4,318	4,318	
	トータルコスト	19,245	18,452	21,464	21,658	
	国庫/県支出金	817	1,608	1,057	1,123	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.88人		3,502千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.7人		816千円		
	その他	人		千円		
	合計			4,318千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 胃がん検診受診率(%)	-	男性1.1% 女性2.3%	男性1.1% 女性2.3%	男性1.0% 女性2.0%	男性3% 女性3%
② 肺がん検診受診率(%)	-	男性5.7% 女性11.1%	男性5.7% 女性11.1%	男性4.0% 女性6.8%	男性7% 女性12%

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
・胃がん、子宮頸がん、乳がん検診の受診率の向上に向けて、引き続き広報やホームページなどを活用しがん検診の必要性について周知していく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	予防接種事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	予防接種法に基づき、乳幼児と児童・生徒及び高齢者を対象として予防接種を行うことにより、疾病の予防・蔓延の防止を図る。			
事業概要	予防接種法に基づき、乳幼児と児童・生徒及び高齢者を対象として予防接種を行うことにより、疾病の予防・蔓延の防止を図り住民の健康管理に努める。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	02	0001 予防接種事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	55,066	79,252	61,466	80,483	
	概算人件費	1,948	2,708	3,454	3,454	
	トータルコスト	57,014	81,960	64,920	83,937	
	国庫/県支出金	238	1,870	2,213	368	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.67人		3,178千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5人		276千円		
	その他	人		千円		
	合計			3,454千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・随所で予防接種の接種勧奨の通知を送付している。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	特定健診等事業（国保）			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民	目的	40歳から75歳未満の国保加入者を対象に、生活習慣病の早期発見及び早期改善を実施し、医療費の削減を図る。			
事業概要	40歳から75歳未満の国保加入者を対象に、生活習慣病の早期発見及び早期改善を実施し、医療費の削減を図る。					

事業予算							
会計	02	款項目	05	01	01	0001 特定健診等事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
直接事業費		23,097		20,322		20,885	25,890
概算人件費		8,363		8,810		8,840	8,840
トータルコスト		31,460		29,132		29,725	34,730
国庫/県支出金		7,680		14,914		5,556	9,770
その他		0		0		0	0
R3概算人件費	正規職員			0.88人			3,342千円
	再任用職員			人			千円
	会計年度任用職員			4.6人			5,498千円
	その他			人			千円
	合計						8,840千円

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	特定健康診査実施率(%)	-	37.8	32.4	32.8	42.0
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 ・新型コロナウイルス感染症の影響による受診者の減少があったため、受診期間を1か月間延長した。
 ・受診率は、県下でも高い状況である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	健康診査事業（後期）			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	後期高齢者医療制度被保険者に対し健康診査を実施により、健康管理の促進と高騰する医療費の削減を図る。			
事業概要	後期高齢者医療制度被保険者に対し健康診査を実施することによって、健康管理の促進と高騰する医療費の削減を図る。					

事業予算						
会計	03	款項目	03	01	01	0001 健康診査事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
	直接事業費	24,430	25,259	24,772	29,293	
	概算人件費	1,340	1,208	1,080	1,080	
	トータルコスト	25,770	26,467	25,852	30,373	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	21,903	27,484	21,514	25,149	
R3概算人件費	正規職員	0.27人		1,080千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,080千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 後期健康診査実施率（%）	-	43.2	40.2	45.0	46.0
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	・介護予防との一体事業の進め方				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	自殺予防推進事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	一人ひとりが命の大切さについて理解し、誰も自殺に迫られることのない町を目指す。			
事業概要	大切な命を守るために1人ひとりができることについて考えてもらうため、講座等を通じて自殺対策に関する普及啓発を行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	03	0003 自殺予防推進事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	70	0	30	92	
	概算人件費	799	559	513	513	
	トータルコスト	869	559	543	605	
	国庫/県支出金	41	0	15	56	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.11人		513千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			513千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 誰も自殺に追い込まれることのない二宮町を目指す		数字に表せられず	数字に表せられず	数字に表せられず	数字に表せられず
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

・担当部署のみならず、全庁的な連携を行っているが、コロナ禍でも更なる連携を深めるために庁内連絡会の開催手法等の検討をしていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	保健センター管理運営経費 ※			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象		目的	保健センターの維持管理のため。			
事業概要	保健センターの適切な施設運営と管理を実施する。					

事業予算							
会計	01	款項目	04	01	04	大事業 0001 保健センター管理運営経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
直接事業費		4,940		5,264		13,175	5,540
概算人件費		1,691		1,570		3,931	3,931
トータルコスト		6,631		6,834		17,106	9,471
国庫/県支出金		0		0		0	0
その他		537		539		414	590
R3概算人件費	正規職員			0.27人		1,323千円	
	再任用職員			0.6人		2,608千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					3,931千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	施設の老朽化（特に空調設備）の進行具合と、新庁舎の建設の兼ね合い				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	救急医療事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	休日、夜間に受診できる医療を確保するため。			
事業概要	一次救急（休日急患当番医）及び二次救急を実施し、救急医療の充実を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	01	0003 救急医療事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
	直接事業費	13,858		13,598		13,845
	概算人件費	199		199		199
	トータルコスト	14,057		13,797		14,044
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.04人		199千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			199千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	休日急患当番医数（人）	-	23	23	23	23
②	二次救急病院数（箇所）	-	4	4	4	4

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	地域医療の充実	4.43	2.97
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	機会があるごとにかかりつけ医の推奨と小児救急ダイヤルの周知を行っている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	保健衛生管理経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	医師会等	目的	地域医療行政の円滑な運営を図り、医師会及び歯科医師会と連携を密にするため。			
事業概要	医師会と歯科医師会との連携体制にかかわる経費。					

事業予算							
会計	01	款項目	04	01	01	大事業 0002 保健衛生管理経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
直接事業費		1,892		6,879		2,411	2,164
概算人件費		1,568		2,072		2,297	2,297
トータルコスト		3,460		8,951		4,708	4,461
国庫/県支出金		0		0		0	0
その他		0		0		0	0
R3概算人件費	正規職員	0.46人		2,297千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,297千円			

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域医療の充実	4.43	2.97
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	ワクチン接種等コロナ対応について、医師会と密に打合せを行い円滑に進めている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	子育て世代包括支援事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●			●	●
事業対象	町民	目的	育児に不安を抱える方などが、気軽に相談できる窓口を設置し不安の解消に努める。			
事業概要	母子の健康保持・増進を図るため、健康診査や育児相談など、育児不安の解消や親子関係の向上を図る。また、妊娠・出産から育児期を通して切れ目のない支援を行うため、子育て世代包括支援センターを設置。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	03	0001 子育て世代包括支援事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
直接事業費			13,598		22,213	10,289	11,986
概算人件費			10,039		9,317	11,101	11,101
トータルコスト			23,637		31,530	21,390	23,087
国庫/県支出金			4,431		678	269	126
その他			2		0	0	6
R3概算人件費		正規職員			0.5人	2,340千円	
		再任用職員			0.2人	870千円	
		会計年度任用職員			11人	5,722千円	
		その他			60人	2,169千円	
		合計				11,101千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 母子手帳発行数（冊）	-	133	130	116	
② 乳幼児全戸訪問事業の訪問率【戦略】（%）	100.0	97.5	51.7	86.2	

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 母子保健の充実	4.29	3.06
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 訪問や相談などをきめ細やかにおこなっているが、今後も引き続き感染症対策等を考慮して行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	育児発達支援事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	子どもの発達支援を行うとともに、保護者や園の先生方とともに支援の仕方を考えていく。			
事業概要	健診や相談で課題があった親子に親子支援教室や育児発達支援教室を実施し、療育的な支援を行う。また、保育園や幼稚園従事者への支援も行う。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	03	大事業 0002 育児・発達支援事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	900	611	907	1,088	
	概算人件費	4,150	3,936	4,641	4,641	
	トータルコスト	5,050	4,547	5,548	5,729	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.43人		1,778千円		
	再任用職員	0.1人		435千円		
	会計年度任用職員	3人		2,428千円		
	その他	人		千円		
	合計			4,641千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 育児について困ったとき、気軽に相談できる人や場がある保護者の割合【戦略】（%）	93.7	93.7	91.8	96.8	96.7
② 児童相談員の相談受付回数【戦略】（回）	423	423	335	634	500

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 母子保健の充実	4.29	3.06
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 発達支援教室や相談のニーズが年々高まっており、実施方法等について考慮する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	子ども・子育て支援給付経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	民間保育所等	目的	民間保育所の運営支援のため。			
事業概要	児童福祉の向上を図るため、民間保育所の運営に係る経費を給付する					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	05	0001 子ども・子育て支援給付経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費	433,051	521,110	550,102	558,909		
	概算人件費	4,275	5,438	5,389	5,389		
	トータルコスト	437,326	526,548	555,491	564,298		
	国庫/県支出金	256,684	352,712	365,064	365,909		
	その他	59,979	40,518	43,873	45,917		
R3概算人件費	正規職員	1.26人		5,389千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			5,389千円			

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	待機児童数(翌年4月1日現在)【戦略】(人)	1	2	0	0	0
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 法令等に基づき、着実に給付事業を実施することができた。今後、私立幼稚園の新制度への移行状況によっては、業務量及び経費が増加する可能性がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	百合が丘保育園運営事務経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象		目的	町立百合が丘保育園の運営支援のため。			
事業概要	町立百合が丘保育園を運営するための経費					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	04	大事業 0001 百合が丘保育園運営事務経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		11,405		10,700	10,898	10,433
	概算人件費		85,422		51,161	31,405	31,405
	トータルコスト		96,827		61,861	42,303	41,838
	国庫/県支出金		0		959	960	0
	その他		6,386		6,934	7,109	10,402
R3概算人件費	正規職員			8.5人		31,405千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					31,405千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 5 4 3 2 1 → 低い				
	必要性	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 町内民間保育所の入所者数の状況も考慮しながら柔軟に入所受け入れを行い、町内の保育需要の安定化を図った。少子化の状況を注視して、今後の公立保育園の在り方を検討していく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	百合が丘保育園維持管理経費 ※			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象		目的	町立百合が丘保育園の維持管理のため。			
事業概要	町立百合が丘保育園の維持管理のための経費					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	04	大事業 0002 百合が丘保育園維持管理経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		5,539		4,231	5,961	3,494
	概算人件費		1,333		364	457	457
	トータルコスト		6,872		4,595	6,418	3,951
	国庫/県支出金		0		738	104	0
	その他		0		0	0	900
R3概算人件費	正規職員		0.08 人		457 千円		
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		人		千円		
	その他		人		千円		
	合計				457 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 園舎は耐震補強を実施済みであるが、築50年を経過していることから、設備等の状況を見極めて予防保全に努め、機能の維持を図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	私立幼稚園教育推進事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●	●	●	●
事業対象	町民、私立幼稚園	目的	私立幼稚園の運営支援のため。			
事業概要	私立幼稚園に就園する3歳から5歳の保護者の経済的負担を軽減するために保育料の一部を補助する。また、私立幼稚園に対して園経営の一部を助成し、幼児教育の振興を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	06	大事業 0001 私立幼稚園教育推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	25,403	2,156	1,778	1,899	
	概算人件費	1,449	1,682	1,124	1,124	
	トータルコスト	26,852	3,838	2,902	3,023	
	国庫/県支出金	5,879	270	628	1,100	
	その他	0	0	0	0	
R 3 概算人件費	正規職員	0.23 人		1,124 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,124 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 5 4 3 2 1 → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 令和元年10月より開始となった教育・保育の無償化により、子育て世帯の経済的負担が軽減された。引き続き円滑な給付に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	病後児保育事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	保護者が安心して働くことができるように支援するため。			
事業概要	病気の回復期にある児童が、集団保育及び家庭での保育が困難な場合において、適切な施設で一時的に保育を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	0006 病後児保育事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
	直接事業費	973		1,020		851
	概算人件費	129		100		123
	トータルコスト	1,102		1,120		974
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.03人		123千円		/
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			123千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	病後児保育登録者数(人)	-	19	12	14	15
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 登録者の絶対数は多くはないものの、万一の際の保育の受け皿として有効活用されており、保護者の安心感につながっている。幼稚園、保育園を通じてチラシを配布し、事業の周知を図った。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	小児医療費助成事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●		●	
事業対象	町民	目的	小児に係る医療費の一部を助成することにより、小児の健全な育成を支援し、もって小児の福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業概要	小児にかかる医療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を行い小児の健康の増進を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	0002 小児医療費助成事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	67,856	52,142	59,423	69,522	
	概算人件費	1,160	2,391	1,128	1,128	
	トータルコスト	69,016	54,533	60,551	70,650	
	国庫/県支出金	13,822	8,503	10,661	12,642	
	その他	0	94	0	1	
R 3 概算人件費	正規職員	0.25 人		1,128 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,128 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 小児医療証発行数（枚）	-	2,623	2,584	2,394	2,186
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2 子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 本助成により経済的な心配をせず医療を受けられるため、子どもたちの健康の維持増進につながっている。
 R4.10より所得制限を撤廃し、子育て支援策のさらなる充実を図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	児童手当支給事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	家庭における生活の安定に寄与するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的としている。			
事業概要	中学生までの児童を養育している者に、児童の健全な育成と家庭における生活の安定を図るために手当を支給する。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	05	0002 児童手当支給事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
	直接事業費		337,623		330,829	322,906
	概算人件費		1,450		1,449	991
	トータルコスト		339,073		332,278	323,897
	国庫/県支出金		285,342		279,937	273,285
	その他		60		50	0
						1
R3概算人件費	正規職員			0.25人		991千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			人		千円
	その他			人		千円
	合計					991千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 児童手当受給者（延人数）	-	32,370	31,651	30,853	30,500
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2 子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	

成果・課題等
 法令に基づき、順調に支給事業を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、前年度に引き続き現況届を郵送受付とし、併せて保護者の負担軽減が図られた。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	児童虐待防止対策事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、関係機関	目的	児童虐待の防止に努める。			
事業概要	要保護児童地域対策協議会を開催し、児童虐待の防止及び関係機関との調整を図る。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	01	0007 一般経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		134		0	0	0
	概算人件費		6,172		6,016	6,638	6,638
	トータルコスト		6,306		6,016	6,638	6,638
	国庫/県支出金		1,579		1,599	0	
	その他		0		0	0	
R3概算人件費	正規職員			0.69人		3,071千円	
	再任用職員			0.1人		435千円	
	会計年度任用職員			1人		3,132千円	
	その他			人		千円	
	合計					6,638千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4計画
① 児童相談件数（件）	-	1,500	1,330	1,390	1,500
② 代表者会議、実務者会議回数（回）	-	5	2	5	5

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	□	■	□
成果・課題等	長期間継続的に係る相談が増加している。多様で複合的な課題を抱える家庭の増加により、他機関連携及び専門職的な知識が必要となっている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	ひとり親世帯関係経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	町民	目的	ひとり親家庭の自立及び生活の安定を図るため。			
事業概要	ひとり親家庭の自立、生活の安定の一助として医療費を助成するとともに、これらの家庭において緊急一時ヘルパーを必要とする場合、助成する。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	01	0001 ひとり親世帯関係経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費	14,449		16,039		12,503	13,852
	概算人件費	516		797		1,173	1,173
	トータルコスト	14,965		16,836		13,676	15,025
	国庫/県支出金	6,493		4,884		5,392	7,027
	その他	0		0		0	1
R3概算人件費	正規職員	0.29人				1,173千円	
	再任用職員	人				千円	
	会計年度任用職員	人				千円	
	その他	人				千円	
	合計					1,173千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① ひとり親医療証発行数（枚）	-	166	140	175	170
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2 子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等 就労面での制約が出やすいひとり親世帯にとって、医療費助成は経済的な支援として大きな安心感につながる事業であり、引き続き適切な制度運営に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	子育てサロン及び一時預かり運営事業 ※			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を行う。また家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児に預かる。			
事業概要	子育て支援の充実を図るため、子育てサロン及び一時預かりを社会福祉法人に委託し、運営の安定化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	02	大事業 0001 子育てサロン及び一時預かり運営事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	24,628	22,965	24,783	22,753	
	概算人件費	721	737	838	838	
	トータルコスト	25,349	23,702	25,621	23,591	
	国庫/県支出金	13,016	15,830	15,447	16,548	
	その他	705	421	0	617	
R3概算人件費	正規職員	0.17人		838千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			838千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 子育てサロン利用者数（人）	-	10,466	6,351	6,526	10,000
② 一時預かり利用者数（人）	-	224	289	289	240

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2 子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら開所し、保護者への育児情報の提供や一時預かりなどを実施することができた。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	子育て支援対策事業			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民	目的	子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の把握などを行っていく。			
事業概要	子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画を策定する。また、子育て支援に関する事業を行う。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	01	0005 子育て支援対策事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
	直接事業費		10,326		6,172	5,093	4,807
	概算人件費		3,875		1,612	1,374	1,374
	トータルコスト		14,201		7,784	6,467	6,181
	国庫/県支出金		1,332		1,963	1,532	1,332
	その他		0		0	0	0
R3概算人件費	正規職員		0.26 人		1,374 千円		/
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		人		千円		
	その他		人		千円		
	合計				1,374 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	0～64歳までの人口構成割合【戦略】（%）	67.3	67.3	65.1	64.4	71.0
②	ファミサポまかせて会員数（人）	-	62	65	73	71

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ファミリー・サポート・センターでは、研修日程を柔軟に設定したこともあり、まかせて会員の登録者を増やすことができた。引き続き登録者の確保に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	学童保育所維持管理経費			所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に適切な遊びや生活の場を与えて、健全育成を図る。			
事業概要	町内3か所の学童保育所の運営を社会福祉法人に委託し、また、民間学童保育所に補助を実施し、学童保育の運営について安定化を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	0004 学童保育所維持管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
	直接事業費	36,327	60,161	52,832	40,173	
	概算人件費	2,914	2,427	2,008	2,008	
	トータルコスト	39,241	62,588	54,840	42,181	
	国庫/県支出金	20,170	37,511	35,495	28,372	
	その他	0	0	0	0	
R3概算人件費	正規職員	0.42人		2,008千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,008千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
① 学童保育会員数（人）	-	273	284	282	331
② 児童数に対する学童保育所利用者の割合【戦略】（%）	23.6	23.6	23.7	23.9	27.0

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 学童保育所の充実	4.14	2.99
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 今後数年間にわたり利用希望者が多い状況が予測されている。移転が完了した民間学童とも連携し、引き続き希望者の円滑な受入れに努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			